

佐賀県立宇宙科学館

《ゆめぎんが・2015 夏の特別企画展》

海王展 海の支配者たちの系譜

開催期間：平成27年7月11日（土）～9月27日（日）



【企画展の目標】

- 過去から現在までの海の高次捕食者を「海王」と称してクローズアップし、その変遷から海洋生物の進化や多様性、生態系、環境変化の影響など、多角的に「海」の持つ役割や大切さを学ぶ機会とします。
- 「佐賀県」で発見された海洋生物の化石を通して、郷土の地史や自然を知ること、地域ならではの視点から、かけがえのない「海」についての関心と理解を深めます。
- 特別展の関連事業として、「海」を連想する様々な体験型プログラムを開催し、海洋生物や「海洋」に関する疑問やふしぎに対して、参加者とスタッフの会話を交えながら好奇心を増大させる機会を創出します。

展示会場の様子



佐賀県立宇宙科学館 外観



特別企画展示会場 入口



初代「海王」“アノマロカリス”の巨大ロボットや貴重な実物や大型のレプリカ標本の外、3Dプリンターを活用した立体模型を制作・展示することで、臨場感を演出しながら海洋生物の生態や進化についてわかりやすく解説しています。



会期にあたる夏休みの主な来場者である子どもやファミリー層に対して、解説文章を多用しない展示とすることで、視覚的な効果から想像力と海洋生物に対する好奇心を増大させる展示構成としています。



来場者にとって、より身近に感じる海洋生物である現代の「海王」についても展示・解説を充実させることで、古より続く「海」を舞台にした生物の進化や系譜がよりわかりやすく繋がるとともに、現代にも通じる生命にとっての「海」の重要性と自然環境に関心を持つきっかけとなる展示ストーリーを構成しています。

関連事業の様子

■ トークバトル 海王 vs 恐竜 —古代の王者はどっち?—

【開催日時】平成27年7月20日（月・祝） 13:30 ~ 15:00

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館ガイダンスホール

【参加者数】67名

【目標・内容】

●古生物が専門の研究者による古生物の王者をテーマとしたトークバトル形式で、子どもたちにもわかりやすく古代の恐竜と海の生き物を紹介しました。

●演者：恐竜くん（田中真士氏）

中谷大輔（佐賀県立宇宙科学館 研究交流部スタッフ）



このトークバトルでは、知名度の高い恐竜と対比しながら、海の古生物を紹介することで、「海」への興味関心を高めるために企画しました。海王については、海生爬虫類を専門とする科学館スタッフが解説し、恐竜についてはゲストの恐竜くんが紹介することで、双方の生き物の対比をわかりやすく演出しました。



2人の演者により紹介された古生物のうち、最も古代の王者としてふさわしいものを、参加者の挙手数により決定しました。ティラノサウルスの人気には勝てませんでしたが、クビナガリュウを押す参加者も多く、今回のイベントを通して、海の生物への興味を喚起させることができました。さらに、質疑応答の時間を長く設けたことで演者と参加者の距離が縮まり会場全体の一体感が生まれました。

■ ナイトミュージアム&ペイント教室

【開催日時】 ①平成27年7月26日（日） ★荒天のため8月9日に振替
② 8月 8日（土） 18:00 ~ 20:00
③ 8月29日（土） 18:00 ~ 20:00

【開催場所】 佐賀県立宇宙科学館ガイダンスホール

【参加者数】 ①13名 ②20名 ③14名

【目標・内容】

- 各種「海王」の立体模型への色塗り教室を開催し、専門家による「海洋生物」の色や形にまつわる生き残り戦略の解説を聞きながら、各自が模型に色塗り体験することで「海洋」と「海洋生物」に関して興味を増す機会としました。
- 博物館における夜間ならではの照明効果の中、専門家によるギャラリートークを実施して、普段は経験できない雰囲気での特別企画展示を見学することで記憶に残る見学会としました。



イベントの前半ではペイント教室を行いました。10分程度の「色」についての講義の後に、40分かけて、じっくりと色塗りを体験していただきました。白い模型は瞬く間に、十人十色の多様性豊かな生物へと変貌していきました。参加者には、このペイント教室の中で、海の古生物の「色」の可能性を探求していただきました。



イベントの後半では、参加者のみの貸し切りで、じっくりと展示物を観覧していただきました。当館職員と参加者の対話形式で展示物を見て回ることで、海の生物や海の歴史に対する理解を深める機会となりました。

■ 「海王」の化石のクリーニング体験

【開催日時】会期中毎日 14:00 ~ 15:00

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 特別企画展示場内クリーニングルーム

【参加者数】1日 20名 (累計975名:9月7日付)

【目標・内容】

- 特別企画展での主役である「海王」。その「海王」たちが存在していた証である「化石」が古生物の研究に欠かせないモノであることを認識するとともに、特別に「海王」の貴重な実物化石に触れ、専門家の指導の下、研究者が実際に使用する道具を使うなど、化石クリーニング作業を通して“本物”の研究活動の一端を体験することで「海王」についてより関心を持つ機会としました。



普通に展示してある「化石」や「骨格」標本について、これらの作業の結果、研究・調査資料として姿を表し、展示資料として活用されることがわかるとともに、海洋生物の特徴なども考えながら作業しなければならないことも学べます。



古生物が存在していた証である「化石」。今回の特別企画展における主役である海洋古生物の「化石」と「骨格」を研究するうえで欠かせない化石のクリーニング作業が体験することで、古生物のカタチや骨格の特徴を学びながら作業してもらいました。

■ ワークショップ① 海王のペーパーハットを作ろう

■ ワークショップ② パレオアクアリウムを作ろう

【開催日時】会期中毎日

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 科学実験室（特別企画展示場内）

【参加者数】①2,667名・②4,863名（9月7日付）

【目標・内容】

- 自分の好きな「海王」に色を塗り、自分だけのペーパーハットやパレオアクアリウムを工作することで、「海王」の形と名前を学び海洋生物への興味と関心を持つ機会としました。



「海王のペーパーハットを作ろう」では、好きな海王を1つ選び、自由に色塗りをしてもらうことで、海の古生物の色について考えてもらう機会としました。また、ペーパーハットとして身に付けてもらうことで、海の生物への愛着がわくように工夫しました。



「パレオアクアリウムを作ろう」では、好きな海王を3つ選び、自由にレイアウトすることで、海の生物への愛着がわくように仕掛けました。また、自宅に帰って飾ってもらうことによって、常に「海」を意識してもらうように工夫しました。

■ ①スタンプシート ②海王図鑑を作ろう

【開催日時】会期中毎日

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 特別企画展示場内

【参加者数】①28674名 ②12304名（9月7日付）

【目標・内容】

- 特別企画展示場内に点在する「海王」スタンプ14個を集めると、同時に主な歴代「海王」がすべて見学でき、一冊の「海王図鑑」が完成します。スタンプのみを集めたい人のために、スタンプシートも用意しました。
- 「海王図鑑」では、スタンプ（海王の姿）と自分で各「海王」の解説を書いてもらいます。これにより見学するだけではなく、各「海王」の特徴とともに「海王」が生きた時代の海的环境なども学びながらオリジナル図鑑が完成します。



歴代「海王」の展示箇所に設置されたスタンプをワークシートに押しながら、解説を自作することで、オリジナルの海王図鑑を作製します。



歴代「海王」の特徴と「海王」が生きた時代における環境の変化がもたらす生態系、食物連鎖などを能動的に学びながら、現代にも通じる環境と生物の関係について関心をもってもらう機会とします。

また、自作の図鑑を作製し、持ち帰ることで夏休みならではの自由研究や、継続的に「海」への興味・関心を持つ機会とします。